【総括表】

用途	放課後児童クラブ

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	朝日小学校放課後児童施設	朝日町	現状維持	
2	若林西小学校放課後児童施設	若林西町	現状維持	
3	若園小学校放課後児童施設	中根町	現状維持	
4	浄水北小学校放課後児童施設	浄水町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

メーカーの耐用年数等を考慮し、劣化状況を注視しながら適切に使用する。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、放課後児童クラブで多数の児童が生活する施設であり、安全の確保を優先的に進める必要がある。

なお、対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	朝日小学校放課後児童施設

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	朝日町	延床面積	141.70 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S 造	2012	141.70	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
朝日小放課後児童施設は、建築後７年を経過し、老朽化による劣化は確認されていない。しかし、利用頻度が高く、子どもが利用する施設のため、施設内で運動をすることもあり施設の摩耗が著しい。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。また、点検結果や耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。

□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

２０１４年より民間事業者に委託することによって、放課後児童健全育成事業を実施している。行政と民間との共働により、地域住民に密着した事業を実施することにより、最も効率的に公共サービスの提供を行うとともに、コスト削減を図る。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	空調機の改修により、個別空調方式の導入を図り、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新し、ランニングコストの縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	若林西小学校放課後児童施設

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	若林西町	延床面積	141.69 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S 造	2013	141.69	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
若林西小放課後児童施設は、建築後６年を経過し、老朽化による劣化は確認されていない。しかし、利用頻度が高く、子どもが利用する施設のため、施設内で運動をすることもあり施設の摩耗が著しい。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。また、点検結果や耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
２０１４年より民間事業者に委託することによって、放課後児童健全育成事業を実施している。行政と民間との共働により、地域住民に密着した事業を実施することにより、最も効率的に公共サービスの提供を行うとともに、コスト削減を図る。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	空調機の改修により、個別空調方式の導入を図り、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新し、ランニングコストの縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	若園小学校放課後児童施設

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	中根町	延床面積	173.32 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S 造	2013	173.32	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
若園小放課後児童施設は、建築後６年を経過し、老朽化による劣化は確認されていない。しかし、利用頻度が高く、子どもが利用する施設のため、施設内で運動をすることもあり施設の摩耗が著しい。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。また、点検結果や耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
２０１４年より民間事業者に委託することによって、放課後児童健全育成事業を実施している。行政と民間との共働により、地域住民に密着した事業を実施することにより、最も効率的に公共サービスの提供を行うとともに、コスト削減を図る。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	空調機の改修により、個別空調方式の導入を図り、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新し、ランニングコストの縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	浄水北小学校放課後児童施設

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	浄水町	延床面積	177.80 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S 造	2014	177.89	3 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
浄水北小放課後児童施設は、学校施設に含まれており建築から５年経過している。老朽化による劣化は確認されていない。しかし、利用頻度が高く、子どもが利用する施設のため、施設内で運動をすることもあり施設の摩耗が著しい。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。また、点検結果や耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
２０１４年より民間事業者に委託することによって、放課後児童健全育成事業を実施している。行政と民間との共働により、地域住民に密着した事業を実施することにより、最も効率的に公共サービスの提供を行うとともに、コスト削減を図る。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	空調機の改修により、個別空調方式の導入を図り、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新し、ランニングコストの縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。